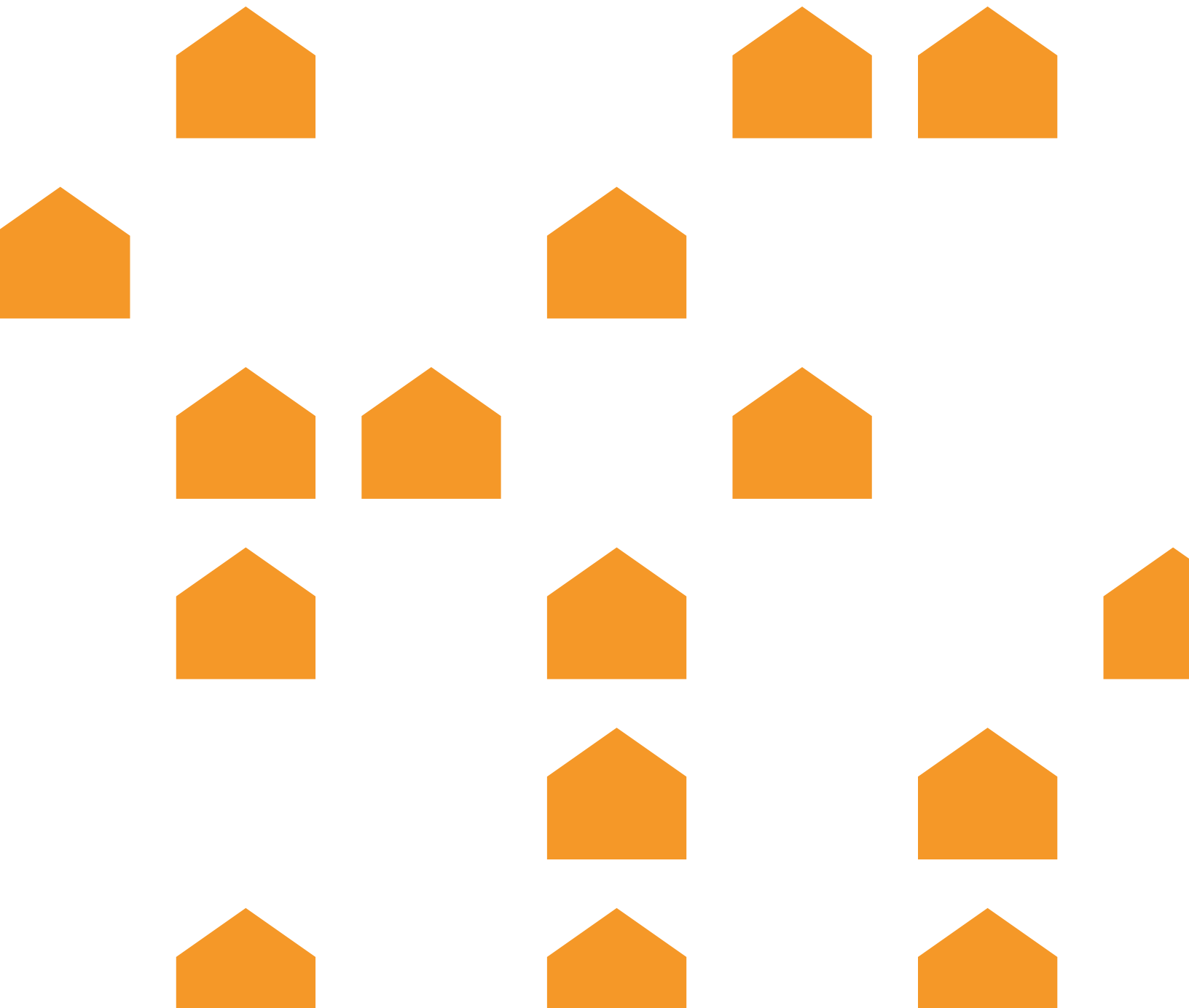


NNEDV

プライバシーと安全

Facebookで守るには

虐待、嫌がらせ、暴力などの被害に遭われた方へのガイドブック



目次

目次

はじめに

1

第1の防御ライン: コンテンツを見せる範囲を管理

2

コントロールを取り戻す: プライバシー設定の確認

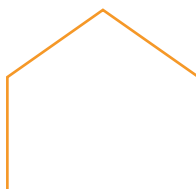
3

第2の防御ライン: セキュリティ設定とお知らせ

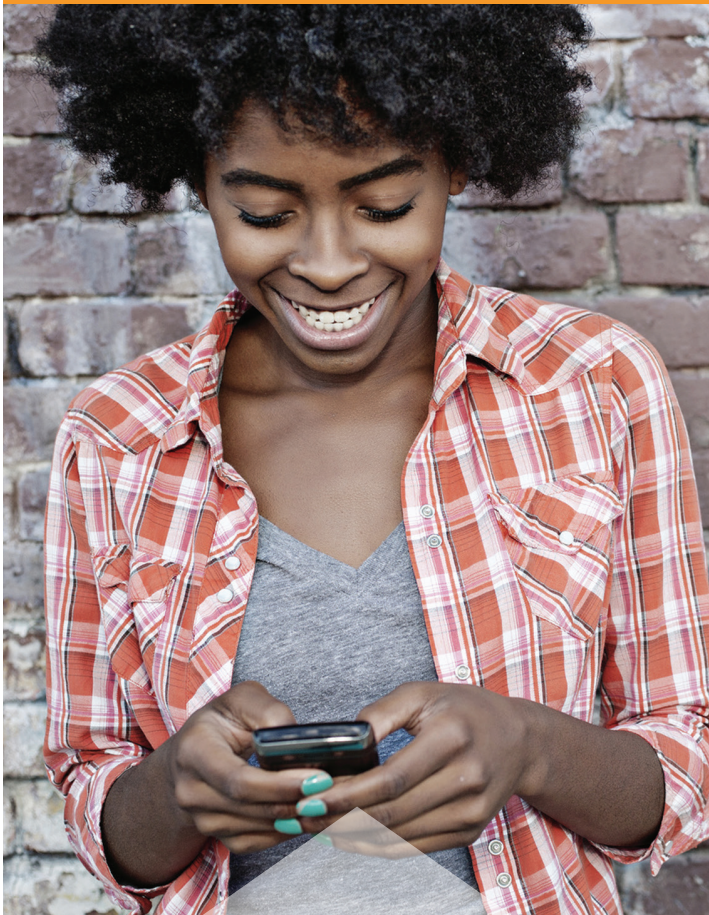
4

第3の防御ライン: 安全を確保

5-6



▶▶▶ ソーシャルメディアは、人々が家族や友達、コミュニティと、人生の大事な出来事を共有できるような、よりオープンでつながり合う世界をめざしています。



ドメスティックバイオレンス(DV)防止のために活動する全米的団体The National Network to End Domestic Violence (NNEADV)はFacebookと共同で、犯罪行為などの被害者が引き続きFacebookを利用してゆけるように、安全を守り個人情報を管理するためのポイントをまとめました。このガイドブックは、DV、性的暴行、ストーカー行為の被害に遭った人が、友達や家族とのつながりを保つためにFacebookを使い続けられるよう、安全とプライバシーを自分で管理して加害者からのストーカー行為や嫌がらせを防ぐ方法をご案内する手引きとなっています。

大切なこと:

暴行や暴力を受け、助けを必要としている方は、どうぞ女性の安全や人権保護に取り組む団体に相談してください。

▶ **NNEADV**はDVの被害者やその支援者たちを代弁する声として、DVを引き起こす複雑な要因や広範囲にわたる影響に対し、さまざまな取り組みや提言を行ってきました。

詳しくは**nnedv.org**をご覧ください。

第1の防御ライン: コンテンツを見せる 範囲を管理



通常、あなたの投稿は、あなたが友達に追加した人なら誰でも見ることができます。プライバシー設定によっては、友達の友達も投稿を見ることができます。ときには、加害者を友達に追加するのを断ったり、ブロックしたりするのが難しく、そのために加害者が危険で支配的な行為をエスカレートさせてしまうこともあります。ここでは、何を誰に見せるかをコントロールする方法についてお伝えします。

ご存知 ですか?

友達リストを作成して既定の公開範囲に設定するか、投稿時に選択することで、あなたがFacebookでシェアするものを自分で選んだ人だけに見せることができます。

共有範囲を選択する

Facebookで何かをシェアするとき、それを見てもいい人を指定することができます。共有範囲の選択オプションには、[公開]、[友達]、[自分のみ]のほか[カスタム]があり、これを選ぶとその投稿を見てもいい人を個別に指定できます。あらかじめそういう友達をまとめたリストを作成しておけば、一部の友達だけに投稿や写真をすぐシェアできます。このような共有範囲の選択オプションは、個別の投稿や写真アルバムだけでなく、[基本データ]セクションの各項目にもあります。ただし、いくつかの項目は公開以外に設定できないのでご注意ください(詳しくは次ページを参照)。一般の人々や友達が見たときに何がどう表示されるかを確認できる「プレビュー」機能もあります。この機能を使うには、自分のFacebookプロフィールの右側にあるプライバシーショートカットアイコンをクリックしてください。

新しく友達を承認するときは慎重に

Facebookは実名制のコミュニティであり、実社会でご本人を表す情報に基づいてのご利用をお願いしています。しかし、ときには被害者の個人情報入手するために他人を装って近づく加害者もいます。すでに友達として承認したはずの相手から友達リクエストが届いた場合は、本人に直接確認をとりましょう。加害者が不正に偽名アカウントを作成し、友達になりすまして目当ての人物に近づくとうとするケースもあるからです。

お子様にも学んでもらう

子供の中には、友達登録の多さはステータスであり、人気者の証しだと考えている子もいます。お子様とプライバシーと安全について話し合う機会を作り、知らない人から友達リクエストが来てもむやみに承認してはいけない理由をよく説明してあげてください。

友達に協力してもらおう

プライバシーには自分の努力だけでは管理できない部分もあります。たとえば、友達があなたに関する写真や投稿をシェアしたり、あなたにタグ付けをしたりした場合です。それをあなたのタイムラインに表示するかどうかは自分で管理できますが(次ページ参照)、いずれにせよその友達のタイムラインには表示されてしまいます。その友達が被害者と加害者の共通の友人であるような場合だと、これが問題になるおそれがあります。

- **タグ付けした人の友達には表示しない:** タグ付けした人の友達にも表示を許可するチェックボックスをオフにします。これは共有範囲の選択で[カスタム]を選択すると開く、カスタムプライバシー設定の中にあります。
- **タグの確認ツールを利用する:** いつ、誰が自分にタグ付けされたかが分かります(詳しくは4ページを参照)。
- **あらかじめ協力を頼む:** プライバシー面で配慮してほしい点を友達や家族に伝えておきましょう。
- **身辺をチェックする:** 自分の職場やボランティア先や関連コミュニティが、従業員や協力者やイベント参加者についての情報を投稿している場合は、自分についての情報は公開しないように依頼します。

リストの作り方について詳しくは下のリンクをクリックをご覧ください。

<https://www.facebook.com/help/listsbasics>

コントロールを取り戻す: プライバシー設定の 確認

あなたがシェアするものを見てもいい人は?

Facebookでシェアしたものを見せる範囲は自分で選ぶことができます。プライバシー設定の[私のコンテンツを見ることができる人]か、投稿の作成画面から、投稿の共有範囲を選択してください。どちらで選択しても、その共有範囲が次の投稿でデフォルト設定として選択されます。逆に言えば、公開範囲に[公開]または[友達]を選択すると、次の投稿でも変更しないかぎり同じ範囲に共有されるということです。前のページで説明しましたが、リストを使えば、ある投稿を特定の友達にだけ見せない、または指定した友達にだけ見せるといったことも可能です。また、特にプライバシー設定を行わずに投稿したのも、後から共有範囲を制限することができます。なお、自分の情報のプライバシーをコントロールできるといっても、他人のタイムラインに投稿したものについては、その人のプライバシー設定に基づいて表示されますのでご注意ください。

あなたを検索で探せる人は?

Facebook利用規約に従い実名でプロフィールを作成することは、あなたの実名で検索すれば誰でもそのプロフィールを見つけられるわけです。しかし、そこに個人情報をごくまで公開するかについては、プライバシー設定で制限できます。また、メールアドレスや電話番号を使ってあなたを検索できる人を制限することもできます。これらの設定を変更するには、プライバシー設定や基本データのページを開き、変更したい項目にカーソルを重ねて[編集]をクリックします。[基本データ]



セクションでは、個人情報の項目ごとに公開範囲を制限することもできます。検索エンジンが直接プロフィールにリンクするのを許可するかどうか選ぶことができます。チェックボックスをオフにすると、GoogleやBingなどの検索エンジンや人名検索サイトで誰かがあなたの名前を検索しても、検索結果にあなたのFacebookプロフィールが表示されることはありません。このオプションは、ネット検索で知られる個人情報をできるだけ少なく留めたい被害者にとって重要です。

ただし、共有範囲を[公開]にして投稿したものは、この設定の内容にかかわらず検索エンジンに表示される可能性があることにご注意ください。この設定をオフにするだけでなく、今後の投稿や過去にシェアした投稿の公開範囲を制限することもできます。シェアする内容やプライバシー設定によっては、実際の居場所を特定されてしまう場合があります。被害者にとって、居場所を知られないことは身の安全を守るためにもきわめて重要です。携帯電話からFacebookメッセージを送信するときは、必ず位置情報をオフにしておきましょう。オンになっていると、あなたの本当の現在位置が地図付きで相手に送信されてしまいます。

タグ付けされるのをコントロールするには?

Facebookにはタグ付けという機能がありますが、これがきっかけでタイムラインを発見されてしまう場合もあります。プライバシー設定では、あなたが承認していないタグを自分のタイムラインで非表示にする、自分がタグ付けされた投稿の共有範囲を制限する、または「タグ付けの提案」機能をオフにすることができます。自分へのタグは削除できますが、削除したり、承認しなかったりしたとしても、Facebookから投稿や写真自体を削除することにはなりません。このオプションはあくまで、あなたが見たくないものが自分のタイムラインに表示されるのを防ぐためのものです。プライバシーに関する懸念がある場合には、Facebookのコミュニティによる報告ツールを利用して、相手に写真や投稿を削除するよう依頼することができます。投稿された内容によって身の危険を感じる場合や、その投稿がFacebookのコミュニティ規定に違反する場合は、Facebookに報告してください。身の危険を感じるような嫌がらせのコンテンツについては、警察に相談することもおすすめします。

自分についてのコメントに対処するには?

Facebookでは、ほかの人が本人のタイムラインやあなたのタイムライン以外の場所で行う発言を制限することはできませんが、あなたのタイムラインへの書き込みをコントロールすることはできます。[タイムラインとタグ付け]には、あなたのタイムラインに投稿できる人やタイムラインを見ることができる人を制限できる設定項目があります。

常に公開される情報

Facebookでは、プライバシーにかかわる多くの情報について公開を制限するオプションが用意されていますが、設定にかかわらず誰がタイムラインを見ても表示される情報もいくつかあります。その情報とは、氏名、現在のプロフィール写真、現在のカバー写真、所属するネットワーク、性別、ユーザーネーム、ユーザーIDです。プライバシーを守るためには、公開する情報を慎重に選ぶ、プロフィール写真やカバー写真には個人を特定されないようなものを使う、ネットワークに参加するかどうかを決める、などの対策をとったほうが良いでしょう。

公開された投稿への「いいね！」やコメント: 自分以外のプロフィールやFacebookページに掲載された投稿や写真には、そのプロフィールやページの所有者がその投稿に設定したプライバシー設定が適用されます。たとえば、共有範囲が[公開]に設定されている(誰でも見られる)写真に対して「いいね！」やコメントをした場合、あなたのプライバシー設定にかかわらず、そのコメントや「いいね！」した事実も公開されることとなります。

プライバシーベーシックツール

プライバシーベーシックツールは、Facebookで自分が発信・受信する情報の範囲をひととおり設定できるように作られています。このツールを使えば、プライバシーの管理が簡単になります。

facebook.org/basics

第2の防御ライン: セキュリティ設定と お知らせ



セキュリティ チェックツール

このツールは、セキュリティ設定全体をすばやく見直して、アカウントの安全性を高めるのに役立つ提案をしてくれます。
[facebook.com/
securitycheckup](https://www.facebook.com/securitycheckup)

セキュリティ設定は、あなたのアカウントにアクセスできる人を管理します。被害者にとっては非常に重要な設定だといえます。加害者の中には、被害者が使いそうなパスワードを推測してアカウントに侵入しようとする者もいるからです。セキュリティ設定を使えば、あなたのアカウントに他人がログインできないような対策をとることができます。ここでは、被害者にとって特に重要な設定を紹介します。

セキュリティのための質問

セキュリティのための質問はたいてい一般的な個人情報を尋ねるものなので、加害者も答えを知っているか、推測できる可能性があります。質問の答えに設定する内容は、本当のことでなくてもかまいません。答えが自分しか導き出せないような語句になるよう工夫して、加害者が答えを推測してパスワードをリセットするのを防ぎましょう。

ログイン通知

今までに使用したことのないコンピュータや機器から誰かがアカウントにアクセスしようとしたときに、メールまたはテキストメッセージでお知らせを届ける設定です。

ログイン承認

いつもと異なるウェブブラウザや機器からアカウントにログインする場合に、セキュリティコードの入力を求める設定です。

認証済み機器

アカウントにアクセスをできる機器を登録しておき、それ以外の機器がアカウントにアクセスを試みたときはお知らせを送信します。以前はパートナーの機器からアカウントにアクセスしていたが、今はその機器からアクセスされたくないという場合に特に役立ちます。

進行中のセッション

これは現在進行中のセッションや過去にログインしたセッションを表示できる機能なので、覚えておくとういでしょう。アカウントにログイン中の場合や、アプリを使用した後ログアウトしていない場合には、現在進行中のセッションとして表示されます。これを見れば、あなたのアカウントに他人がアクセスした可能性があるかどうかも分かります。心当たりのないセッションがあれば[終了]を選択して、その機器からのアクセスを遮断します。

お知らせ

Facebookでは、誰かが友達リクエストを送信した、あなたをタグ付けした、あなたの投稿にコメントしたなど、さまざまなアクティビティに対してお知らせを受け取るように設定できます。お知らせの設定の項目をひとつおとりチェックしてみて、どれが必要かを決めましょう。また、通知方法もメール、Facebook、テキストメッセージから選ぶことができます。

データのダウンロード(DYI)ツール

これはあなたのアカウントから投稿されたコンテンツや他人との会話履歴を一括ダウンロードする機能です。データには投稿や写真のほか、ログインではアクセスできない一部のアクティビティ(あなたがクリックした広告など)も含まれます。虐待、嫌がらせ、一方的な連絡などの証拠を保存しておく手段として非常に便利です。このツールを使えば、自分のタイムラインへの書き込み、友達リクエスト、自分が削除した友達、過去に送受信したすべてのメッセージ(削除したメッセージは除く)、あなたのアカウントにアクセスしたIPアドレスの一覧なども保存することができます。なおアカウントにアクセスしたIPアドレスについては、完全な履歴が取得できない場合があります。FacebookはIPアドレスの履歴をすべて保持しているわけではないからです。情報をダウンロードするには、[一般アカウント設定]に移動して[Facebookデータをダウンロード]をクリックします。ダウンロードしたデータにはあなたの個人情報が大量に含まれていますので、くれぐれもダウンロード用URLを通知するメールを他人に開かれないように注意しましょう。データの保存場所にも配慮が必要です。また嫌がらせや一方的な連絡については、証拠として写真やスクリーンショットを撮っておくことをおすすめします。投稿への「いいね！」など、ツールでもダウンロードできないデータがありますし、そうでなくてもダウンロードする前に加害者が削除してしまう可能性があるからです。そのような場合にも写真があれば証拠になります。DYIツールについて詳しくは下のリンクからご覧ください。

<https://www.facebook.com/help/download>

第3の防御ライン: 安全を確保

虐待やストーカー行為などの加害者は、インターネット上のさまざまな場所を悪用して嫌がらせをします。Facebookの場合だと、投稿やプライベートメッセージで脅迫や嫌がらせを送りつける、相手に損害や苦痛を与える目的で個人情報や写真を無断で拡散する、無断でアカウントにアクセスする、相手になりすますといったケースがあります。

そのような嫌がらせは容認できるものではありませんが、Facebookの利用規約違反にはあたらないうえも、違法性を問えるとも限りません。そのため、Facebookで嫌がらせを受けた場合にどんな対抗手段があり、どこで支援が受けられるかを知っておくことが大切です。

Facebookで使えるツール:

「友達から削除」と「ブロック」:この2つは、Facebook上で嫌がらせをしてくる人への対策として用意されている機能です。

- **友達から削除:** 友達から削除すると、共有範囲を[友達]に設定したアクティビティ(写真、近況アップデート、投稿)は、その人には表示されなくなります。また、その人のアクティビティがあなたのニュースフィードに表示されることもなくなります。ただし、アカウントで「公開」設定になっている情報は、友達でなくなっても見ることができます。共有範囲を[公開]にして投稿したアクティビティ、自分のタイムラインに共通の友達が投稿した内容、共通の友達のタイムラインに自分が投稿したコメントも同様です。なお、友達から削除された人は、再度友達リクエストを送ることができます。
- **ブロック:** ブロックすると、相手はあなたのタイムラインのアクティビティを見られなくなり、さらにメッセージの送信、タグ付け、友達リクエストの再送信もできなくなります(ブロックした相手は自動的に友達から削除されます)。以後、その人のアクティビティがあなたの目に触れることもありません。ただし、あなたがアプリ内やグループ内で公開している情報やアクティビティについては、ブロックされた人も見ることができます。

この2つのオプションをいつ行使するかは、理性と直感をはたかせて判断しましょう。ストーカーやDV加害者にとって、監視と脅迫は被害者への支配とコントロールを維持する手段です。それを断ち切られると、別の手段を見つけ出したり、言動をエスカレートさせたりする場合があります。たとえば脅迫の度合いを強めたり、直接暴行に訴えたりするケースもあるのです。加害者との関係や接触を断ち切ることが、かえって身の危険を招く可能性があります。被害者の身を危険にさらす可能性もあります。被害者支援の専門家にも相談して、計画的に安全を確保しましょう。連絡を遮断した場合に何をされるか心配な場合は、地域のDV対策プログラムや警察に相談し、詳しい情報や支援を求めてください。

親しい相手からの暴力、ストーカー行為、嫌がらせについて詳しく知りたい方は、女性の安全や人権の保護に取り組んでいる最寄りの団体に連絡してください。また、www.nnedv.orgでも参考になる情報を公開しています。

問題の人、投稿、写真をFacebookに報告する: Facebookで誰かが投稿している内容やサイトの使い方から身の危険を感じる場合には、こちらの手段も利用できます。報告はタイムラインからでも、受信メッセージからでも、ニュースフィード上でも行うことができます。

自分のタイムラインに描き込まれた投稿、自分にタグ付けされた投稿、プライベートメッセージも報告することができます。写真も、自分にタグ付けされたかどうかに関係なく報告することができます。各コンテンツを報告する手順についてはwww.facebook.com/reportに分かりやすい説明があります。

Facebookへの報告の手順に関する一般的な情報は<https://www.facebook.com/help/reportviolation>をご覧ください。

報告オプションを使う前に、投稿者に連絡してコンテンツの削除や変更を依頼したり、ほかに信頼できる人がいる場合にはその人に気がかりなコンテンツがあることを知らせたりすることもできます。

報告されたコンテンツは、Facebookの利用規約に違反していれば削除されます。Facebookは定められたコミュニティ規定に従い、コンテンツが暴力や脅迫、いじめや嫌がらせ、差別発言、性的暴行や性的搾取、なりすましを含む場合には、そのコンテンツを削除します。Facebookコミュニティ規定の全文と、この規定における嫌がらせや脅迫の定義については、<https://www.facebook.com/communitystandards>に掲載しています。

覚えておいてください: Facebook上で行われる嫌がらせ、脅迫などの行為を証拠として保存しておきたい場合、報告して投稿を削除してもらう前に、そのアクティビティをスクリーンショットに撮っておくか、DYIツールを使って保存しておきましょう。削除されたコンテンツにはアクセスできないからです。

Facebook上での嫌がらせに対処する方法について詳しくは、こちらのリンクからFacebookヘルプセンターをご覧ください。

誤用に対応するためのツール: <https://www.facebook.com/help/addressingabuse>
保護者および教育者向けツール: <https://www.facebook.com/help/parents&educators>

Facebook 以外では:



コメントや投稿の中には、脅迫や嫌がらせを意図していたり、受けた側にはそう感じられたりしても、Facebookの利用規約に違反していないため削除できないものもあります。

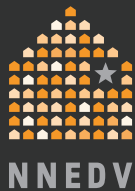
法的な手段

嫌がらせや脅迫を受けたり、身の危険を感じたりした場合は、地域のDV被害者支援グループや警察に相談して、どのような対応が可能かを調べましょう。そういった機関では、ネット上の嫌がらせの証拠集めや、法的措置、嫌がらせや脅迫がエスカレートした場合の身の守り方について相談に乗ってくれるはずです。Facebook上のふるまいとしては特にFacebook利用規約違反でも違法でもないが、まとめて見ると(遠回しな嫌がらせのメッセージが立て続けに来るなど)ストーカー行為や嫌がらせと見なすことができる場合があります。

保護命令や接近禁止命令を獲得したか、これから申請する場合には、加害者がインターネットを含むあらゆる手段で被害者に接触することの禁止、および被害者に関する情報や写真等をインターネットに投稿することの禁止を命令項目に含めてもらうようにしましょう。多くの州では、こうした項目は保護命令の申立書の書式に組み込まれています。それ以前に発行された保護命令についても、修正してこのような文言を追加することができます。

法執行機関が捜査に必要な情報の開示をFacebookに求める際には、所定の手続きが必要です。必要に応じて以下のリンクを捜査担当者に伝え、ガイドラインを参照してもらってください。<https://www.facebook.com/safety/groups/law/guidelines/>





facebook

安全を守りましょう

詳しい情報を知りたい方へ

Facebookに用意されているプライバシーと安全のオプションについて詳しくは、以下をご覧ください。

Facebookのプライバシーに関するページ:

www.facebook.com/privacy

家族全員が安全に利用するために:

www.facebook.com/safety

基本プライバシー設定とツール:

www.facebook.com/help/privacybasics

セキュリティに関するヒントとツール:

www.facebook.com/help/securitytips

NNEDVのセーフティネットプロジェクト(英語):

www.nnedv.org/safetynet

ネット上での安全を守るセーフティネットのリソース(英語):

www.techsafety.org/resources

セーフティネットのテクノロジーセーフティ資料(英語):

www.nnedv.org/safetynetdocs